

平成29年12月11日

洞爺湖町議会平成29年12月会議  
教 育 長 行 政 報 告

番 号 件 名

- 1 寄附について
- 2 町内事業所による地域奉仕活動の実施について
- 3 公立高等学校配置計画の決定等について
- 4 洞爺湖町通学路等安全推進会議の設置について
- 5 虻高未来づくり推進委員会の設置について
- 6 各種事務事業の取組状況について

## 1 寄附について

このたび、次の方より寄附の申し出があり、ご厚志に添うようありがたく受納いたしました。

食材の寄附（洞爺湖町学校給食センターへ）

虻田郡洞爺湖町月浦131番地

岡崎 進 氏

ワカサギ 40kg

## 2 町内事業所による地域奉仕活動の実施について

町内の事業所より洞爺湖町内における地域貢献の申出をいただき、6月から10月まで4回にわたり、町内施設において奉仕活動を行っていただきました。

実施したのは、入江地区に遊戯施設を構える「アミューズメントクラブJ」の従業員で、毎月の休業日を利用し、洞爺店以外に札幌や函館方面の各店舗からも参加し、15名ほどが社会教育施設の草刈り作業、湖畔の野外彫刻清掃、入江貝塚公園内の環境整備等を行いました。

特に、9月の台風18号の暴風発生に伴い、倒木や枝折れの被害が大きかった入江貝塚公園においては、迅速な対応をいただいたことで公園利用の方々に対し、早期に憩いの場を提供することができました。

このたびの活動に心より感謝を申し上げます。

## 3 公立高等学校配置計画の決定等について

9月5日、北海道教育委員会は平成30年度から平成32年度に係る公立高等学校配置計画案と、平成33年度から平成36年度までの見通しを公表しました。

胆振西学区に関しては、本年6月に公表された計画案からの変更はなく、室蘭工業高等学校における平成31年度1学級減の学科は情報技術科となりました。また、平成32年度に室蘭東翔高等学校で1学級減となっています。

学区の検討事項としては、平成33年度以降、平成36年度までに中卒者が148人減少することが見込まれることから、「4年間で2～3学級相当の調整が必要」、「欠員の状況や学校・学科の配置状況を考慮し、室蘭市内や登別市内において定員調整の検討が必要」また、「伊達市内において、欠員の状況や望ましい学校規模を下回る学校があることを考慮し、再編を含めた早急な定員調整の検討が必要」となっています。

また、虻田高等学校が含まれる地域キャンパス校の再編整備に関しては、9月11日に「これからの高校づくりに関する指針」（素案）が公表されました。

素案の現行指針からの主な変更点ですが、名称については、「地域キャンパス校」から「地域連携特例校」へ、再編基準は現行（第1学年の在籍者数が20人未満となり、

その後も生徒数の増が見込まれない場合は、再編整備を進める。)と変わりませんが、特例的取扱いとして、「地域における高校の教育機能の維持・向上に向けた具体的取組とその効果を勘案し、再編を留保。ただし、第1学年の在籍者数が2年連続して10人未満となった場合は再編整備」とされており、本年度末を目途に新しい指針ができる見込みとなっています。

#### 4 洞爺湖町通学路等安全推進会議の設置について

通学路等の安全確保に向けた着実かつ効果的な取組を推進するため、洞爺湖町通学路等安全推進会議を設置し、次の方々を10月25日付けで委員に委嘱しました。

第1回目の会議を同日開催し、会長には規定により教育長が就任し、洞爺湖町通学路等交通安全プログラムの策定及び今後の進め方などについて協議を行いました。

会議終了後には、洞爺湖温泉地区の「中央通り・眺湖通り線」へ出向き、交通安全施設の現況や、町が北海道公安委員会へ要望している信号機や横断歩道の設置個所などについて、現地合同点検を行いました。

今後、町内各地域で合同点検を実施しながら、通学路等の安全確保に向けた取り組みを進めてまいります。

(敬称略)

機関又は団体名	職名・氏名	備考
北海道開発局室蘭開発建設部有珠復旧事務所	所長 飯田 茂	
胆振総合振興局室蘭建設管理部洞爺出張所	所長 山本 文昭	
北海道札幌方面伊達警察署	交通課長 栗原 保	
伊達地区交通安全協会虻田交通安全協会	会長 武川 敏雄	
伊達地区交通安全協会洞爺湖温泉交通安全協会	会長 成田 幸一	
伊達地区交通安全協会洞爺交通安全協会	会長 和泉 清志	
洞爺湖町立虻田小学校	校長 登坂 恭之	
洞爺湖町立洞爺湖温泉小学校	校長 富田 律子	
洞爺湖町立とうや小学校	校長 山下 文人	
洞爺湖町立虻田中学校	校長 横山 佳彦	
洞爺湖町立洞爺中学校	校長 大年 智二	
洞爺湖町立虻田小学校 PTA	会長 舘岡 恵一	
洞爺湖町立洞爺湖温泉小学校 PTA	会長 阿部 博之	
洞爺湖町立とうや小学校 PTA	会長 菊地 哲也	
洞爺湖町立虻田中学校 PTA	会長 佐藤 正記	
洞爺湖町立洞爺中学校 PTA	会長 能登 協	

洞爺湖町総務部住民課	課長 山本 隆	
洞爺湖町経済部建設課	課長 八反田 稔	経済部長
洞爺湖町教育委員会管理課	課長 天野 英樹	教育次長

## 5 虻高未来づくり推進委員会の設置について

虻田高等学校は、入学者数の減少等により平成26年度から地域キャンパス校となり現在に至っています。また、部員数の減少により団体部活動の継続が困難な見通しとなるなど、厳しい状況が続いています。

さらには、北海道教育委員会から「これからの高校づくりに関する指針（素案）」が示され、「地域キャンパス校」が「地域連携特例校」に変更される見込みになるなど、虻田高等学校を取り巻く状況が大きく変化を見せています。

このようなことから、洞爺湖町内唯一の高校である同校の存続を図るとともに、地域連携を通して、これまで以上に地域貢献と地域を担う有能な人材を輩出するべく、虻田高等学校の未来に向けての振興策を、学校関係者、地域及び行政が一体となって検討し、推進することを目的として、虻高未来づくり推進委員会を設置することとしました。

なお、本会議に同委員会設置に係る補正予算を提案しておりますので、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

## 6 各種事務事業の取組状況について

前会議から本会議までの各種事務事業の取組状況について、次のとおり報告します。

### (1) とうや湖スポーツまつり2017の開催について

10月9日（月）、母と子の館や虻田テニスコート周辺を会場に「とうや湖スポーツまつり2017」が行われました。

スポーツまつりは体育の日になんで、スポーツに親しみ、健康増進を図ろうと洞爺湖町体育協会など各関係団体が実行委員会を組織し、毎年行っています。

この日は、小学生からご年配の方まで約60名が、マラソン、ミニサッカー、フロアカーリングや玉入れなど屋内外で全7種目の競技を通して、体育の日を楽しんでいました。

### (2) 洞爺湖町総合文化祭の開催について

平成29年度洞爺湖町総合文化祭は国政選挙に伴い、予定していた日程を一部変更して実施しました。虻田地区では、あぶた体育館での展示部門（10月28日～31日）を皮切りに、あぶたふれ合いセンター（11月4、5日）で実施したステージ部門を含む関連事業などを11月11日まで実施。また、洞爺地区では洞爺総合センターを会場に展示部門（11月3日～5日）とステージ部門（11月23日）

を実施しました。

両地区の文化祭会場では、洞爺湖町文化団体協議会並びにとうや文化協会の会員の皆様による華やかなステージ発表をはじめ、日頃より創作活動に励む方々の個性あふれる秀作の数々が訪れた多くの方々を魅了しておりました。

### (3) 芸術鑑賞会の実施について

11月26日(日)、洞爺湖文化センターにおいて舞台公演「ビバーク！」の洞爺湖町公演が行われました。

この鑑賞会は「心に夢の灯をともし芸術鑑賞事業」として各分野における芸術鑑賞の機会を提供し、当町の芸術文化の振興と発展に寄与することを目的として実施しているもので、今回公演したのは札幌市内を中心に活動しているNEXTAGEという演劇グループです。ステージでは、雪山登山で悪天候に見舞われ下山できなくなった登山者たちの人間ドラマを表現した内容で、緊迫した演技の中に笑いや感動の場面も多く、会場に訪れた165名の観衆が鑑賞のひとときを満喫しておりました。